尾松純子プロフィール

幼い子どもたちからお年寄りまで、様々な場に出向き、生の言葉で語る昔話や物語を届けている。「心をつなぐことば」「心を育てることば」を見つめ、歩み続けている。

現在「おはなし夢夢」を主宰し、おはなし勉強会、大人向け・子ども向けの語りの会などを精力的に行う一方、保育園、幼稚園から大学、PTA、教師の研究会、児童館、図書館、老人ホームなどでも語っている。

エッセー集「物語に心澄ませて」
「おはなし夢夢の手袋人形」 1～4
オリジナル・パネルシアター下絵集等

松野敦子　語り手　おはなし夢夢 所属
コントラバス　松野雄一郎

ギター　橋本保憲、　フルート　橋本弥寿子

東京聖テモテ教会案内図

〈地下鉄南北線東大前駅下車、徒歩 4 分〉
〈 〃　千代田線根津駅下車、徒歩 10 分〉

●ぶどうのいえ

難病とたたかう子どもたちは、特別な治療を必要としています。専門の医師や、特別な設備を備える病院が集中する東京には、多くの子どもたちが治療のために訪れます。子どもが東京の病院に入院しなければならなくなった時、付き添う家族にも滞在場所が必要です。しかし、ホテルなどに長期滞在することは容易ではありません。経済的にも大きな負担を強いられるからです。

難病と向き合う子どもも親も、精神的に厳しい状況におかれています。難病とたたかう子どもと家族が、安心して、しかも少ない負担で滞在できるところ、それが「ぶどうのいえ」です。

表面の背景に用いたのはぶどうのいえに掛けられているタペストリーで、ボランティアの方々による労作です。